

201203 名古屋城全体整備検討会議

10:03

鈴木保存整備室長：瀬口座長 体調不良で欠席  
副座長丸山が行う はじめる  
佐治所長から挨拶

佐治：3派の報道が多い  
開催できてありがとう  
外構工事など議事  
二の丸庭園 次年度  
き損地点等報告

鈴木：出席者紹介  
丸山、赤羽、小濱、高瀬、麓、三浦、藤井  
山下、平澤、洲崎  
教育委員会文化財保護室 名古屋城総合事務所  
資料の確認

丸山：瀬口欠席 進行役をする  
資料の説明を

鈴木：西の丸 資料1  
整備方針区分図 原則掘削をせず盛り土で行う  
ご審議を

10:18

丸山：意見を

赤羽：資料の提示の仕方  
図面だけで口頭は限界がある  
二の丸庭園 理念、方針など書いてある  
西の丸 スケジュールを図面、表で出してほしい

鈴木：資料の構成 不手際があって申し訳ない  
気を付けてやりたい  
スケジュール あらためて想定しているもの  
来年度しっかりと調査を行い、

蔵跡の位置、規模について調べた後計画を立て、進めたい  
本日お諮りしているのは、建物を稼働するために  
最低限のことを示した  
文章となっていないのは申し訳ない

赤羽：展示収蔵施設の供用はいつを想定しているか

鈴木：工事完了したのち、来年の春～初夏で  
建物を供用したいと考えている

赤羽：1 図 令和 2 年で施工されているのは青色、グリーン？

鈴木：2 枚目のオレンジ色のところ  
出入口 最低限整備したい

丸山：スケジュールがはっきりしない

高瀬：二番御蔵がかぎ型に折れている  
ネームプレート埋め込む 折れたほう 2 か所を書いて  
長さが長い

鈴木：指摘ありがとう  
検討する中で、プレートによる表示も考えたい  
二番御蔵 L 型 東側は平面表示  
南側 舗装に着色をする 違う形態で考えている  
勘違いを生じさせないようにしたい

丸山：蔵の表示はいろいろ議論していく  
プレートを置くのか

三浦：一番御蔵二番御蔵 仮舗装  
御門があった  
入口の門表示が必要  
緑 絵図を参考に 微妙に位置が違う  
幅がこんなに広くない

鈴木：門については金城温顧録に記載  
忘れずに検討したい

水路 考え方 前者の考え方  
絵図の雰囲気を出していきたい

三浦：幅を厳密にしない？

鈴木：水路の幅は記載がある  
位置については若干ちがうことも

三浦：最終的な園路 決める前に委員会で諮ってほしい

鈴木：承知した

丸山：1-2 舗装について決める  
それ以降は来年度以降

佐治：供用は来年春と言ったが、  
正式なオープンはまだ協議  
春祭りに暫定オープンができるか？

丸山：搬入のため

藤井：専門ではないが、園路が狭くないか？  
東西に動いている 曲がって入る？無理がある？  
気になった

丸山：そちらを通らない

藤井：そうですか

鈴木：来館者出入口はこちら  
裏のトイレ入り口や管理者出入口用の通路

藤井：水路が決まればよいのでは

鈴木：発掘調査をしないと水路の位置が決まらない  
トイレに入れないのはまずいから通れるようにする

藤井：わかった

丸山：芝生 ショートカットするのではないか  
どう対応するか 次回以降考えて

鈴木：天然記念物のカヤがある  
近づきすぎるのはまずい 今後考える

丸山：この角のデザインを  
次回説明してもらいたい  
今回については仮舗装 手続きを進めてはどうか  
それでは手続きよろしく  
次 二の丸庭園

10:34

名古屋城：二の丸庭園  
未定稿を構成員、オブザーバーに机上配布した

10:41

丸山：ご意見は

高瀬：3-6

御殿に面している  
御殿の表示は難しいようだ  
公園整備に伴う園路が設定されている  
江戸時代と明治を中心に整備する  
御殿は平面表示考えているのか？

丸山：3-6 説明して

名古屋城：二の丸庭園は二の丸御殿に接している  
公園整備の園路  
今回の整備計画 愛知県体育館の移転と絡んでいく  
その時期に再検討したい  
御殿の遺構表示  
いっぺんにできる小野ではない

高瀬：理解が及んでいないのかも

3-6の図は、江戸時代の姿と、青で表示されているのは現在の姿ではなく？

青が現況

公園整備時の園路

考え方として、江戸と明治の姿を中心とする  
公園の園路をどうするか 表示されていない

名古屋城：今の園路は撤去する

わかるように記載する

丸山：公園の園路はこのまま残るわけではない

名古屋城：撤去する

江戸時代の園路に変えたい

高瀬：明治の時の姿というのは、どれだけわかって、その範囲と江戸の姿

混在するわけ

範囲を限って表現すればわかりやすい

全体が混ざり合うと

名古屋城：資料2-2

近代の庭として整備

高瀬：将校の集会所は平面表示するのか

名古屋城：二の丸茶庭がある

耐用年数を迎えたとき調査して検討

赤羽：そもそも議事2-1

尾張の庭園文化とはどういうことかわからない

基本工事 策定時期の異なる庭園の調和

近世の庭園と近代の庭園 調和

分けたほうがよいと思う

あり方は区別する

近代前提

むしろ二の丸庭園 鑑賞するため活用

調和と言わずに、茶亭に座ってお茶を飲む

調和はやめてほしい

名古屋城：近代は調和がそぐわないのでは

鑑賞、活用してはというご助言をいただいた  
保存活用計画の中 諸要素として 明治期遺構改変  
一体的な調和  
調和をした空間として位置づけ  
こちらの部分も江戸期と誤解はさせたくない

小濱：わからないが  
修復、復元  
いつのどの時代に？  
もうちょっと明確に 時代とか時期を明確に  
全域で同じでなくてもよい  
わけてもよい  
明確にしてほしい  
復元というからには資料があるのか  
平面図だけが出てくる

名古屋城：いつの時代をめざすのか  
同じ時期でなくてもよいとご助言いただいた  
資料があるのか  
発掘調査を行っている 調査成果をいかしながら  
検証の上すすめたい  
お城お庭絵図 ほうさ文庫所蔵

麓：本来二の丸御殿と庭園は一体  
二の丸御殿は遺構表示を行う  
近代の価値も無視できない  
撤去してまで二の丸御殿の遺構表示をするわけにもいかない  
重なった部分 遺構表示 近代前提としての整備  
いかにうまくするか  
二の丸御殿 近代の庭園  
意図が異なってくる  
違いがでてくる

丸山：そういうことを目指している

名古屋城：おっしゃっていただいたとおり  
庭園が、前庭だけではなく、北園 明治期に手を入れられた  
壊してまで江戸期に戻すことは考えていない

名勝担当の文化庁

山下：ここは近代

ここは江戸時代

保存管理計画で議論していた

北側も江戸時代 深いところにあって土が入っている

東側 軍の兵舎

名古屋大学の学生会館にも使われていた

焼失した後、公園として活用する

回遊式庭園をベース

近代手を加えられたこと

現況地盤面

北側 江戸時代 結構下に出てくる

研究して戻すことも可能

近代仕事を全部ひっくりかえすのは現実的でない

調和はごまかしてはないかという意見もある

現代の鑑賞対象を最優先 名勝

確実に諮りつつ

地上部分

地下に埋もれているもの 保護しながら地上表示

丸山：休憩 11：15まで休憩

庭園部会で検討

年度末にまとめるように

鈴木：10分程度休憩

11：03

11：15

丸山：11：15になったので始める

名古屋城：議題3 令和3年度二の丸庭園調査

11：22

丸山：質問意見があれば

高瀬：余芳の位置は手水で確認したのか

礎石は確認できなかったのか

名古屋城：手水は確認できた  
兵舎の基礎でほかは破壊されていた

名古屋城：位置関係から推測

高瀬：余芳の東側を発掘する？

名古屋城：そう

丸山：園路 うまくいくと、飛び石がでてくる  
余芳 ベンガラ 赤はで  
庭園部会で再度検討していただく  
あとは報告事項

11:26

鈴木：報告に移る  
き損地点等の追加調査

村木副センター長：資料4

議題1 西の丸

調査をしている

き損 六番蔵

不適切な施工事例 4-1, 2 5か所

4-3 不適切な施工に対応する調査

現在進めている

調査区4 5

現状変更した 掘削が近世のほうがん層まで達しているかわからなかった

資料4-2④

先生と相談しながら 表面観察では限界がある

追加調査してはどうか

4, 5、④について調査を追加したい

申請して許可いただいているところの計画変更

報告させていただいた

資料4以降をごらんいただければ

資料4-5

土が近世か近代か調べる

調査はじめたばかり あらためてご報告できれば

11:32

鈴木：質問などあれば

丸山：次回全体会議で出てくるのか

村木：1月以降の全体会議で結果が出てくる

鈴木：報告2 基礎構造の考え方

名古屋城：考え方 9月10月ご了解いただいた

文化庁に赴いた際、現状ご報告 ご意見いただいた

観覧者の安全確保

配慮することは当然

遺構の保護は十分配慮していただきたい

天守台はつき石

江戸時代から

天守

もうこれ以上天守を痛めることがないような基礎構造にして

(プロジェクト消された)

ご助言

調整会議で

様々な議論

全体整備検討会議

適宜説明していきたい

赤羽：資料はないのか

名古屋城：資料はない

赤羽：ペーパーではいつ出されるのか

ペーパーで根拠とすべき

名古屋城：今後

調整会議を調整 今後報告したい

資料とあわせて報告

赤羽：文化庁に報告 アドバイスいただいた

木造復元 文化庁が決めている「復元基準」なのか  
「復元的整備」どう受け止めているのか

名古屋市：木造復元のことについては、  
どういった形で考えていくか  
残された資料が豊富 文化財として石垣が残っている  
復元で考えている  
文化庁とは今後相談

赤羽：文化庁お願い

山下：復元 正式に申請があるわけではない  
解体についていただいているものについてさらにご検討いただいている  
名古屋市から、「復元」でされたいと聞いている  
復元的整備という考えも  
復元と聞いている  
文化庁 先日来ていただいた  
基礎構造の考え方もうかがった  
一般論 復元にしろ、復元的整備にしろ、  
基本として、人命 立てる建物 当然  
現存している遺構 これ以上現代のわれわれが新たに傷をつけることはないと思  
える  
人命の優先  
熊本震災 熊本城検討している  
基礎構造 復元の全体のコンセプト  
基礎構造に特化して人命優先ではない  
大きなところ 名古屋市と言った  
既存の天守台 石垣上の部分 戦災、RC 復元 かなり改変を受けている  
天守の遺構については、  
側の石垣だけでなく、栗石、ケーソンでいためられているが盛り土が残存  
総体として天守台の保存が大事  
過去の履歴  
なるべく  
必要なところ  
新たな改変がないように  
前回お話、意見交換させていただいた

赤羽：ありがとうございました

佐治：基礎構造の考え方 2回議論 一定の  
資料送付させていただいたあと

鈴木：報告の2 以上  
5 その他  
先般発生した石材、モルタル材

佐治：北面石垣材 モルタル材落下  
10月9日-11日の間 石垣材  
12日 モルタル落下  
毀損再発防止策 速やかに対応 毀損届を提出することを決める  
10日を大幅に過ぎてから提出した  
市議会本会議でも指摘  
事実関係を含め調査中  
調査結果がまとまり次第報告 石垣部会にも報告  
落下した石材とモルタル片をスライドで示す  
こちらがモルタル片 8センチ四方  
石材辺 30センチ~20センチ 厚さが10センチ  
報告は以上

鈴木：こちらに関して

赤羽：全体整備検討会議なので、名古屋城  
前回の会議の前に起こったが報告がない  
既存の会議にも報告がない  
おちたものを持ってきていただくのが本来の在り方  
破片が大きい、小さい  
不可抗力  
どう考えていくか、保存整備  
見ていただいてご議論いただくのがあり方  
あり方そのものをスポイルすると考えざるを得ない  
対策が作られておりながら、毀損届が1か月以上遅れる 信じられない  
名古屋城のために皆さん集まっていた  
隠さずに提示していただく  
議論の材料を提示していただきたい

佐治：今回の件 関係機関に報告が遅れたのは申し訳ない

どう報告するか早い段階で報告したい

小濱：石が崩れた 原因をはっきりさせて  
これから天守の石垣がいくつか崩れてくる可能性も  
もしそうなら対策を考えて

村木：現況調査を行っている  
劣化している  
調査した成果を反映したい  
保全の方針を示したい ご報告させていただきたい

麓：スライドを拝見すると、間詰石か築石かわかりにくい  
話題になっている天守台  
名古屋城全体の石垣に関わること  
表面劣化が剥離 全体で言えばあると思うが、  
毀損届を出す程度 大きさによるのか  
このくらいのことなら出さないといけないのか  
大きさに関わらずすべて出す必要があるのか  
今後なりかねない  
基本的な方針 境目はどこか

山下：毀損届 どういった範疇か  
基本的な考え方 文化財そのものが毀損したものの  
石垣なり遺構 出さないといけない  
破片 間詰が一石落ちた 築石 災害  
判断が分かれる  
文化庁に相談して  
石垣 握りこぶしに満たない石 小さな石垣  
相対的なもの  
文化庁に相談  
その前に管理者が考えて  
電話で報告、書類を出さないといけないか  
名古屋城 広いので、いろんなところで木が折れた  
御殿で  
公園で木が倒れた  
毀損届を提出するか そういったものを含め毀損  
名古屋市が名古屋城でこういったときに毀損届を出すか整理をして

平澤：法令の毀損届

き損を発見した日から 10 日

誤解のないように

365 日すべて点検して回れ、ということは求められていない

天守台で生じた き損 発見しやすい

膨大な面数 こういうことは生じうる

随時点検しながら毀損を生じている 確認

相談、報告してほしい

佐治：貴重なご意見を賜った

事実関係の調査にとどまらず、基準を検討したい

鈴木：予定していたことは以上

終了する ありがとう

11:57